

MIKAMI

品名 同軸多重ユニット

型番 **PTC-MCX08**

取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書および別冊「安全上のご注意」をよくお読みになったうえ、正しく安全にご使用ください。
本書はいつでも見られる場所に保管し必要なときにお読みください。

目次

概要	2
特長	2
構成	2
安全上のご注意	2
各部の名称とはたらき	3
機器の接続	5
設置上の注意	7
接続説明	8
設定方法	10
制御コマンド表	14
通信上の注意	15
仕様	16
外形図	17
設定記録表	18
製品の保証について	19

概 要

- ・ 本機は、屋外・屋内回転カメラ及びコントローラと共に使用し、コントローラからの制御信号を映像信号に重畳させる為の装置です。
- ・ 本機 1 台で回転カメラを 8 台まで接続でき、最大 32 台を使用することで 254 台の回転カメラの制御を可能にします。
- ・ 電源電圧は、AC100V で動作します。
- ・ 筐体は EIA 1U ラックマウントタイプで、オプションで、JIS ラックマウントを用意しています。
- ・ 標準は NTSC 仕様ですが、別途 PAL 仕様も用意しています。
- ・ 本体を据置き型で使用する為に、別途塗装カバーを用意しています。

特 長

- ・ 本機を使用することにより回転カメラの RS485 制御信号を同軸ケーブルで送ることができるため、回転カメラの制御信号用のケーブルが不要となります。
- ・ 本機から回転カメラまでの距離は、同軸ケーブルの 5C-2V で 1.2 km、7C-2V で 1.7 km までを、制御可能となります。
- ・ 同軸ケーブルの距離により映像信号の減衰を補償するケーブル補償器が内蔵しています。
- ・ 各 CH の映像出力の他に、コントローラから選択した映像信号を出力することができる選択出力を 2 出力あり、設定により各 CH を順次切換えて出力することもできます。

構 成

- ・ 同軸多重ユニット本体 (EIA マウントマウント付) _____ 1
- ・ 電源入力 AC プラグコード _____ 1
- ・ RS485 用終端プラグ _____ 1
- ・ 予備ミゼットヒューズ _____ 1
- ・ 取扱説明書 (本書) _____ 1
- ・ 安全上のご注意 _____ 1
- ・ 梱包箱 _____ 1

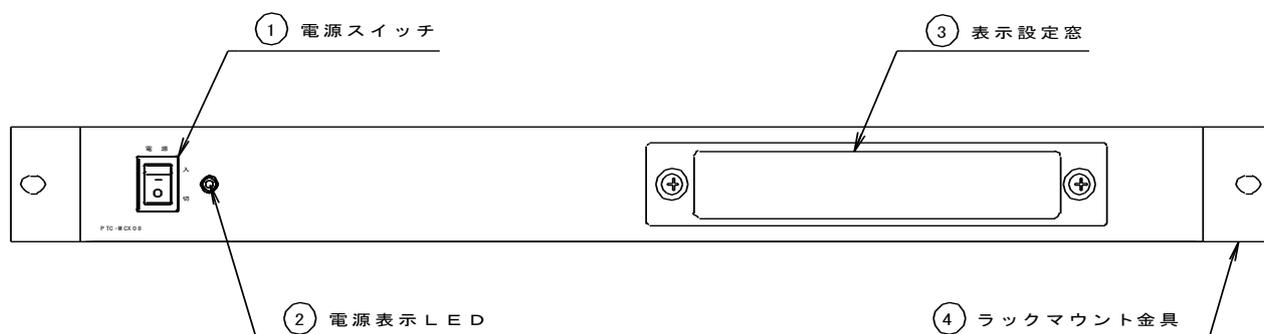
安全上のご注意

- ・ 本機を適切でない環境で使用したり誤った方法で使用すると、故障するばかりでなく、死傷事故につながったり、財産に損害を与える可能性があります。本書および別冊「安全上のご注意」をお読みになったうえ、正しく安全な方法でお使いください。
- ・ 本機を改造しないでください。改造された製品が故障したり、その製品が関係し事故が発生した場合は、弊社はいかなる責任も負いません。
- ・ 同軸多重ユニット (PTC-MCX08 型) には、雷サージ侵入に対する簡易保護機能を内蔵していますが、落雷等、サージによる可能性が考えられる場合は、外部からの映像ライン、通信ライン、電源ラインに雷サージ侵入に対する保護装置を取り付けてください。
簡易保護回路を機能させる為にはフレームグランドを接地する必要があります。

注) 雷サージ侵入による故障は、保証期間内でも有償にて修理となります。

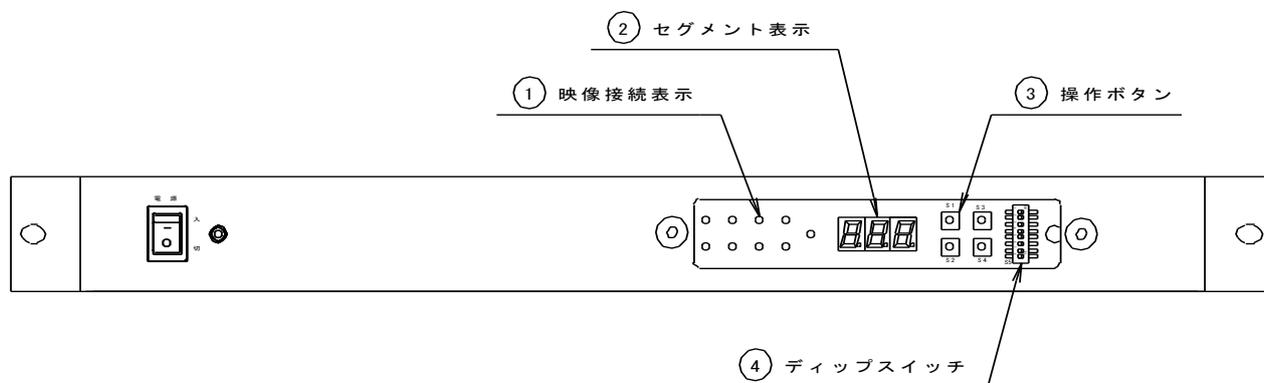
各部の名称とはたらき

前面パネル



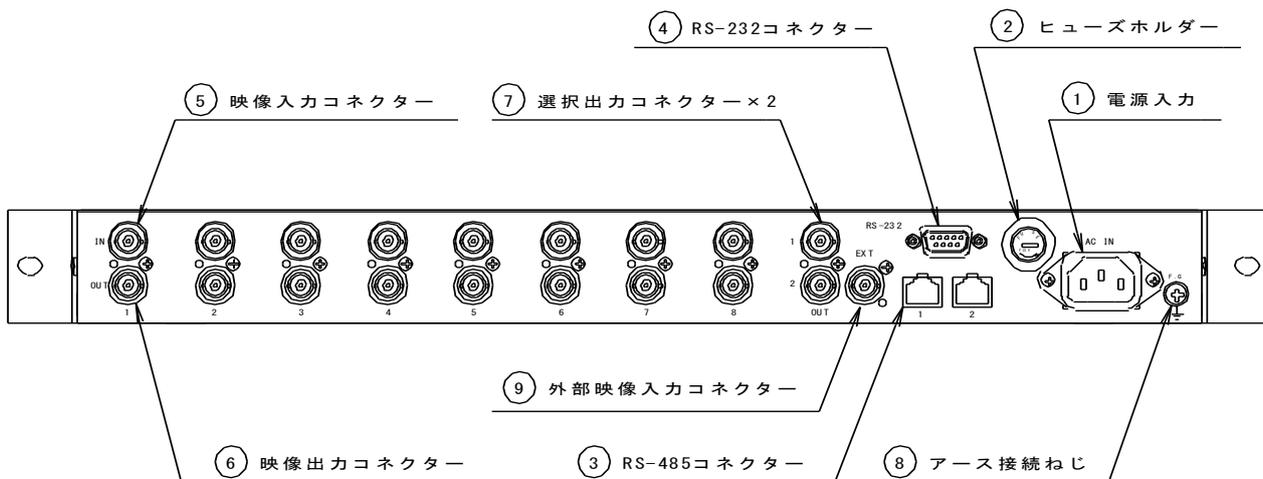
- ①電源スイッチ 本機の電源を ON / OFF します。
- ②電源表示 LED 電源が ON の時 LED が点灯し、OFF の時 LED が消灯します。
- ③表示設定窓 映像接続表示、操作ボタン、セグメント表示、ディップスイッチを収納しています。
- ④ラックマウント金具 EIA ラックに、固定するとき 사용합니다。

表示設定部



- ①映像接続表示 CH1～CH8 は旋回カメラから映像信号が入力されると黄色に点灯し、コントローラより、旋回カメラが選択され制御可能な状態の時には黄色に点灯し通信時には点滅します。固定カメラ等、非制御カメラは緑色に点灯します。外部映像入力 (EXT) が入力されると緑色に点灯します。
- ②セグメント表示 設定した番号が表示され、この番号がカメラアドレスとして割り振られます。また、設定時には、設定用表示として使用します。
- ③操作ボタン S1～S4 ボタンは設定変更等を行う時に使用します。
- ④ディップスイッチ S5 スイッチは操作ボタンやセグメント表示の設定内容を変更します。

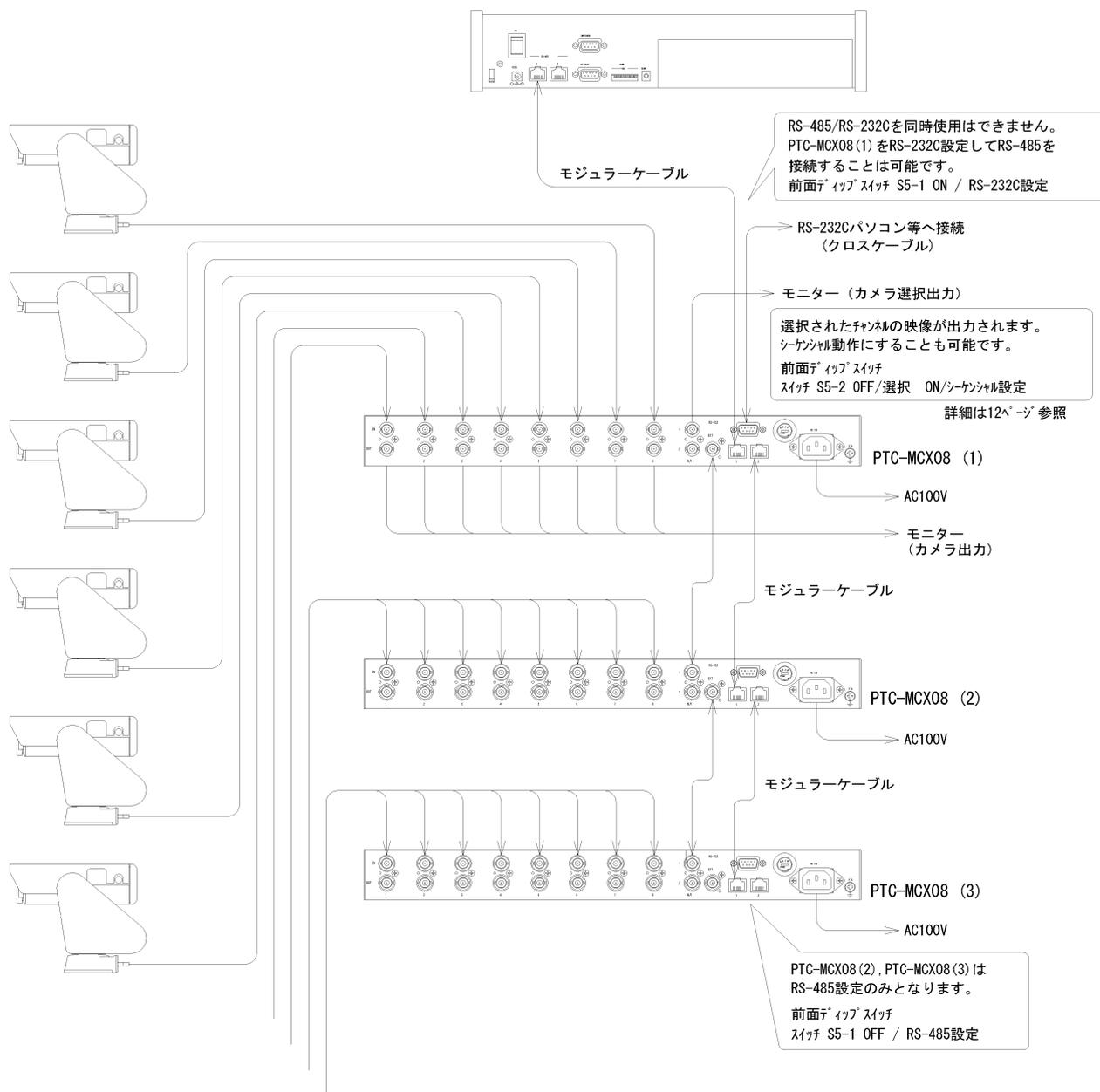
背面パネル



- ①ACインレット 電源 AC100V を入力します。
- ②ヒューズ 125V 3A ミゼットヒューズを使用します。
- ③RS-485 コネクタ コントローラ等と接続し、RS-485 通信制御をします。
- ④RS-232 コネクタ パソコン等からの外部制御機器を接続します。
注)複数台を連結して使用した場合には使用できません。
- ⑤映像入力コネクタ 旋回カメラからの映像信号を入力すると共に、旋回カメラへの制御信号を送受信します。
- ⑥映像出力コネクタ 映像信号を出力し、映像信号内に重畳された制御信号は出力されません。映像信号はケーブル補償されて出力されます。
- ⑦選択出力コネクタ コントローラで選択された映像信号を出力し、映像信号内に重畳された制御信号は出力されません。映像信号はケーブル補償されて出力されません。
- ⑧アース接続ねじ フレームグラウンド。
- ⑨外部映像入力コネクタ 連結接続時に次段の選択出力映像信号を入力します。

接続例)

一体型回転カメラ (PTC-117)、同軸多重ユニット (PTC-MCX08)、コントローラ (PTC-032CB) の接続



※PTC-MCX08 (3)のRS-485コネクタに終端プラグを接続してください。
 ※外部映像入力を接続する場合はS5-3をONにしてください。
 S5-3をOFFで使用した場合は各機器ごとに出力し、選択され
 チャンネルの出力が切替わるようになります。

※PTC-MCX08 (3)をPTC-SCX01Cと混在使用することが可能です。
 詳細については別途、お問い合わせください。

設置上の注意

1. 映像ノイズ

映像上にノイズ等が発生した場合、旋回カメラと映像入力間にビデオトランス、ハイター等を使用して対策することが可能です。フレームラウドからの影響により映像にノイズが入る場合があります。

※ 旋回カメラ—映像入力間は双方向接続していますのでアンプ等の機器は接続できません。

2. 雷サージ

サージ吸収素子を内蔵していますが、屋外から直接、同軸ケーブルを引いている場合には保安器等を入れてサージ保護してください。また、RS-485、電源ラインを保護する必要があります。

3. フレームラウド

フレームラウドはできるだけ太い線でできるだけ短く結線してください。

4. 画質調整

同軸ケーブルにより減衰した映像信号を補償することで画質がシャープになります。

詳細は 11 ページ 5. ケーブル補償設定及び 6. 映像レベル設定をご覧ください。

5. 同軸多重ユニット複数台接続

旋回カメラのアドレスを変えることなく、同軸多重ユニットでカメラ番号を 1~8 に設定され、複数台使用する場合は 10 ページ 1. アドレス設定又は 2. オフセットアドレス設定でアドレスを設定してください。

(任意の番号の場合はアドレス設定、連続番号の場合はオフセットアドレス設定が便利です。)

6. 動作確認

操作器(コントローラ)を接続することなく簡易的に動作確認をすることができます。

詳細は 13 ページ 11. ローカル制御をご覧ください。

7. 操作スイッチ項目 (詳細は 10 ページ 設定方法をご覧ください。)

設定モード	S5 スイッチ	S1 スイッチ	S2 スイッチ	S3 スイッチ	S4 スイッチ
アドレス設定	S5-8	UP	DOWN	→	記憶
オフセットアドレス設定	S5-8, 1	UP	DOWN		記憶
メインアドレス設定 (MAIN)	S5-8, 2	UP	DOWN		記憶
サブアドレス設定 (SUB)	S5-8, 3	UP	DOWN		記憶
ケーブル補償量	S5-8, 4	UP	DOWN	→	記憶
ケーブル補償微調整	S5-8, 5	UP	DOWN	→	記憶
映像レベル調整	S5-8, 6	UP	DOWN	→	記憶
工場出荷時に戻す	S5-8, 7 ※1				実行
シーケンシャル設定 ※2	S5-7	UP	DOWN	→	記憶
シーケンシャル設定消去	S5-7, 8 ※3				実行

UP/DOWN は表示数字が変化します。

→ チャンネル移動

※1 電源を切り、S5-8, 7 を設定して電源を入れて S4 を押してください。

※2 0~300 秒 0 又は映像信号が無信号時にはチャンネルをスキップします。

※3 S5-7 を ON にしてから S5-8 を ON にしてから S4 を押してください。

上記の設定をする場合は、設定以外の S5 のスイッチは OFF にしてください。

運用モード	S5 スイッチ	OFF	ON
通信入力	S5-1 ※	RS-485	RS-232C
映像出力	S5-2	選択動作	シーケンシャル動作

※ 設定には電源の再投入が必要です。

接続説明

接続作業は、各機器の電源スイッチが OFF になっていることをお確かめのうえ行ってください。

1. RS-485 コネクタ（表示：RS-485 1 / 2）

コントローラまたは RS-485 分配器等と接続してください。

〈コネクタ〉

RJ-45 モジュラージャックコネクタをご使用ください。

〈接続ケーブル〉

室内配線は RJ-45 モジュラーケーブルをご使用ください。

RJ-45 コネクタをツイストケーブルに変換する場合は RS-485 接続パックを使用して RS485 規格に合致したツイストペアケーブル（AWG24 相当）をご使用ください。

外部からのノイズが予測される場合は、シールド等の対策を十分に行ってください。

注）LAN 関連機器とは接続しないでください。

RJ-45 モジュラーケーブルは市販の LAN ケーブルが使用できます。

〈ピンアサイン〉

RS-485 コネクタのピンアサイン（16 ページ参照）に従って、接続して下さい。同軸多重ユニット以外のピンアサインは、各製品の取扱説明書をご覧ください。

〈MCX を複数台接続する場合〉

RS-485 コネクタの（1）もしくは、（2）いずれかを次に接続する同軸多重ユニットの RS-485 コネクタの（1）もしくは、（2）に接続します。または、RS-485 分配器を利用する方法も可能です。接続方法については RS-485 分配器（PTC-RSHUB16）の取扱説明書をご覧ください。

〈注 意〉 従来の D サブ 9 ピンタイプ（PTC-123CB・PTC-107MCX-4 等）の RS485 機器と接続する場合 D サブ 9 ピンのピンアサインは A 相（+）が 3 ピン、B 相（-）が 8 ピンとなっています。別売りの RS-485 接続パック KIT-301RJ01 に既設のケーブルを接続して付属のケーブルで PTC-MCX08 に接続してください。

D サブ 9 ピン	3 ピン	→	接続パック	1 番
D サブ 9 ピン	8 ピン	→	接続パック	2 番

接続方法は、RS-485 接続パック取扱説明書をご覧ください。

2. 映像入力コネクタ（表示：IN1～8）

旋回カメラの映像信号を接続してください。（同軸多重信号が重畳されています。）

旋回カメラ以外の映像信号を入力することも可能です。

〈コネクタ〉

BNC コネクタプラグをご使用ください。

〈接続ケーブル〉

同軸ケーブル（75Ω）、502V もしくは、702V をご使用ください。

3. 外部映像入力コネクタ（表示：EXT）

映像信号を入力することができます。MCX を複数台接続した場合に使用します。

〈コネクタ〉

BNCコネクタプラグをご使用ください。

〈接続ケーブル〉

同軸ケーブル（75Ω）、3G2V等をご使用ください。

4. 映像出力コネクタ（表示：OUT 1~8）

旋回カメラからの映像信号がケーブル補償器で補償されて出力します。

映像信号内の同軸多重信号は除去されています。

〈コネクタ〉

BNCコネクタプラグをご使用ください。

〈接続ケーブル〉

同軸ケーブル（75Ω）、5G2Vもしくは、7G2Vをご使用ください。

5. 映像選択出力コネクタ（表示：OUT1, 2）

コントローラで選択された旋回カメラの映像が出力します。

映像信号はケーブル補償器で補償され、映像信号内の同軸多重信号は重畳されていません。

〈コネクタ〉

BNCコネクタプラグをご使用ください。

〈接続ケーブル〉

同軸ケーブル（75Ω）、5G2Vもしくは、7G2Vをご使用ください。

6. RS-232C コネクタ（表示：RS-232C）

パソコン等のRS-232Cコネクタと接続してご使用ください。

〈コネクタ〉

Dサブコネクタ（9ピン、メス、#4-40UNCねじ）相当品をご使用ください。

〈接続ケーブル〉

RS232C規格に合致したケーブルをご使用下さい。

外部からのノイズが予測される場合は、シールド等の対策を十分に行ってください。

〈ピンアサイン〉

RS-232Cコネクタのピンアサイン（16ページ参照）に従って、接続して下さい。同軸多重ユニット以外のピンアサインは、各製品の取扱説明書をご覧ください。

7. 電源コードの接続

付属のケーブルを使用し、AC100Vを入力して下さい。

設定方法

1. アドレス（カメラ番号）設定

旋回カメラのカメラ番号を設定します。

カメラ番号は、1～253 で、番号を重複して設定しないでください。（「0」設定不可）

<設定操作>

表示設定窓より、ディップスイッチの S5-8 を ON にして、S3 を押すと映像接続表示 LED が移動し、点灯しているチャンネルの設定をすることができます。S1 (UP) / S2 (DOWN) を押してアドレスを設定し、S4 (ENTER) で記憶します。

※旋回カメラ内部にも、カメラ番号（アドレス）設定のスイッチがありますが、同軸多重ユニットに接続して使用する場合には、同軸多重ユニット側の設定が優先されます。

※カメラ番号 254 を設定する場合は、PTC-MCX08 のマイアドレスを変更する必要があります。

※設定時、S5 ディップスイッチは設定以外のスイッチは OFF にしてください。

2. オフセットアドレス設定

PTC-MCX08 を複数台使用時に、カメラ番号を連続番号で設定します。

オフセットアドレスは、0, 8, 16, 24・・・248 からグループごとに選択します。

※オフセットアドレスを設定すると、アドレス設定は無効となりチャンネルごとの設定はできません。チャンネルごとに番号を変更する場合は、工場出荷時設定に戻すか、「0」に設定するとアドレス設定が可能となります。

<設定操作>

表示設定窓より、ディップスイッチ S5-8 を ON にしてから S5-1 を ON にします。

現在の設定値が 7 セグメント LED に表示されます。

S1 (UP) / S2 (DOWN) を押すとオフセットアドレスが変わり、S4 で記憶します。

オフセットアドレス	RS485 上でのアドレス							
	CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	CH7	CH8
0	1	2	3	4	5	6	7	8
8	9	10	11	12	13	14	15	16
16	17	18	19	20	21	22	23	24
240	241	242	243	244	245	246	247	248
248	249	250	251	252	253	△1	△2	×

※工場出荷時は「0」、△1 は PTC-MCX08、△2 は PTC-032CB で使用、× は設定不可

※設定時、S5 ディップスイッチは設定以外のスイッチは OFF にしてください。

※オフセットアドレスを設定すると以前の設定はクリアされます。

3. マイアドレス設定 (MAIN)

PTC-MCX08 の固有機能を通信用制御する場合のアドレスを設定します。
複数台の PTC-MCX08 を設置した場合、「マイアドレス (SUB)」を設定してください。

<設定操作>

表示設定窓より、ディップスイッチの S5-8 を ON にしてから S5-S2 を ON にします。
現在の設定値が 7 セグメント LED に表示されます。
S1 (UP)/S2 (DOWN) を押してアドレスを設定して S4 (ENTER) で記憶します。
アドレスが、カメラ番号(アドレス)と重ならないように設定してください。
※工場出荷時は「254」
※設定時、S5 ディップスイッチは設定以外のスイッチは OFF にしてください。

4. マイアドレス設定 (SUB)

PTC-MCX08 を複数台使用する場合のサブアドレスを設定します。

<設定操作>

表示設定窓より、ディップスイッチの S5-8 を ON にしてから S5-3 を ON にします。
現在の設定値が 7 セグメント LED に表示されます。
S1 (UP)/S2 (DOWN) を押してサブアドレスを設定して S4 (ENTER) で記憶します。
サブアドレスが、他の MCX と重ならないように設定してください。
※工場出荷時は「0」
※設定時、S5 ディップスイッチは設定以外のスイッチは OFF にしてください。

5. ケーブル補償設定

旋回カメラからの同軸ケーブルによる映像信号の減衰を補償します。

<設定操作>

ケーブル補償量は 0~6 段階で設定ができます。
表示設定窓より、ディップスイッチの S5-8 を ON にしてから S5-4 を ON にします。
S3 を押すと映像接続表示 LED が移動し、点灯しているチャンネルの設定をすることができます。
S1 (UP)/S2 (DOWN) を押して補償量を設定して S4 (ENTER) で記憶します。

微調整は 0~100 段階で設定ができます。
ディップスイッチの S5-8 を ON にしてから S5-5 を ON にします。
S3 を押すと映像接続表示 LED が移動し、点灯しているチャンネルの設定をすることができます。
S1 (UP)/S2 (DOWN) を押して補償量を設定して S4 (ENTER) で記憶します。

※設定時、S5 ディップスイッチは設定以外のスイッチは OFF にしてください。

6. 映像レベル設定

出力映像信号レベルを設定します。

<設定操作>

映像レベルを 0~100 段階で設定ができます。
表示設定窓より、ディップスイッチの S5-8 を ON にしてから S5-6 を ON にします。
S3 を押すと映像接続表示 LED が移動し、点灯しているチャンネルの設定をすることができます。
S1 (UP)/S2 (DOWN) を押して映像レベルを設定して S4 (ENTER) で記憶します。
※設定時、S5 ディップスイッチは設定以外のスイッチは OFF にしてください。

7. RS-232C/RS485 設定

制御機器等の接続通信仕様 (RS-232C/RS-485) を設定します。

<設定操作>

表示設定窓より、ディップスイッチの S5-1 番を設定します。

※設定には電源の再投入が必要です。

OFF : RS-485 設定

ON : RS-232C 設定

8. 映像選択出力設定

映像選択出力仕様を設定します。

設定は通信制御も可能で、通信制御設定が優先されます。

<設定操作>

表示設定窓より、ディップスイッチの S5-2 を設定します。

※S5-8 設定モードを使用する場合は事前に S5-2 を OFF にしてください。

OFF : チャンネル選択動作 (操作器から制御)

ON : シーケンシャル動作 (設定時間で制御)

9. 映像選択出力シーケンシャル設定

CH1～CH8 及び外部入力 (CH9) を順次切替え、各チャンネルを 0～300 秒間で設定でき、映像信号が入力されていない時や「0 秒」を設定するとチャンネルを選択せずにスキップします。

<設定操作>

表示設定窓より、ディップスイッチの S5-7 番を ON にします。

CH1 が選択され、設定時間が 7 セグメント LED に表示されます。

CH 変更は S3 で変更し、S1 (UP)/S2 (DOWN) で時間を設定して S4 (ENTER) で記憶します。

※工場出荷時、設定は全て「1 秒」

※設定時、S5 ディップスイッチは設定以外のスイッチは OFF にしてください。

<工場出荷時設定>

表示設定窓より、ディップスイッチの S5-7 番を ON にして、S5-8 番を ON にすると 7 セグメント LED に「ERS」と表示され、S4 を押すと設定が消去され、消去完了すると「DON」と表示されます。

10. 外部映像入力設定

通信制御時の外部映像入力 (EXT CH9) の制御を設定

<設定操作>

表示設定窓より、ディップスイッチの S5-3 番を設定します。

※S5-8 設定モードを使用する場合は事前に S5-2 を OFF にしてください。

OFF : 使用しない。

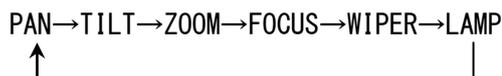
ON : 使用する。

1 1. ローカル制御

旋回カメラの PAN, TILT, ZOOM, FOCUS, WIPER, LAMP の簡易操作ができます。

<設定操作>

表示設定窓より、ディップスイッチ S5-6 番を ON にします。
 ユニット内の同軸多重制御可能で一番若い番号の旋回カメラが選択され LED が点滅します。
 7 セグメント LED に P が表示され、パン操作状態を示します。
 S4 を押すごとに操作モードが変わります。



※動作モードは右表による。
 ※カメラ選択は S3 で設定します。

モード	S1	S2
PAN	右	左
TILT	上	下
ZOOM	テレ	ワイド
FOCUS	遠	近
WIPER	ON/OFF	---
LAMP	ON	OFF

1 2. LED 表示調整

LED 表示は 2 段階、7 セグメントは 4 段階の明るさ設定ができます。

<設定操作>

上部カバーを開けて、表示基板後方のメイン基板 S2 にて設定します。

LED 表示	S2-6	明るさ
	OFF	LOW
	ON	HI

※工場出荷時 LOW

7セグ表示	S2-7	S2-8	明るさ
	OFF	OFF	OFF
	ON	OFF	LOW
	OFF	ON	MID
	ON	ON	HI

※工場出荷時 LOW

1 3. 工場出荷設定

各設定値を工場出荷時の設定に戻します。

カメラ番号 CH1=1, CH2=2, CH3=3, CH4=4, CH5=5, CH6=6, CH7=7, CH8=8

オフセットアドレス (0)、マイアドレス MAIN (254)、マイアドレス SUB (0)、ケーブル補償量 (0)、映像レベル (0)

<設定操作>

電源スイッチが OFF 状態で S5-7, S5-8 を ON にして電源スイッチを ON にすると 7 セグメント LED に「ERS」と表示され、S4 を押すと LED が順次切替り設定が消去され、消去完了すると「DON」と表示されます。S5-7, S5-8 を OFF にすることで工場出荷状態に設定されます。

同軸多重ユニット「PTC-MCX08」制御コマンド表

1. 映像レベル設定 (GA)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
STX	Adrs	C	X	Sub Adrs	G	A	CH	Data	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	Sum	EOT

CH 1~8
 Data 1 Gain UP
 2 Gain DOWN
 4 設定記憶

2. ケーブル補償設定 (EQ)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
STX	Adrs	C	X	Sub Adrs	E	Q	CH	Data	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	Sum	EOT

CH 1~8
 Data 0~7

3. ケーブル補償量設定 (SG)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
STX	Adrs	C	X	Sub Adrs	S	G	CH	Data	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	Sum	EOT

CH 1~8
 Data 1 Gain UP
 2 Gain DOWN
 4 設定記憶

4. 映像選択出力設定

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
STX	Adrs	C	X	Sub Adrs	M	O	Mode	CH	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	Sum	EOT

Mode 0 MCX 選択チャンネルを出力
 1 CH で指定されたチャンネルを出力
 2 スキャンデータで動作

5. シーケンシャル時間設定

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
STX	Adrs	C	X	Sub Adrs	S	T	CH	DH	DL	0x00	0x00	0x00	0x00	Sum	EOT

CH 1~9
 DH, DL スキャン (表示) 時間 CH1~CH8 0~300 秒
 CH9 (EXT) 0~65535 秒

6. 設定取得

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
STX	Adrs	?	X	Sub Adrs	Mode	CH	0x00	Sum	EOT						

Mode 取得項目
 0x00 CH で指定したデータ取得
 CH 0x01~0x09

7. 返信

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
STX	Sub Adrs	CH	Video Sig	EQ	GA	SG	DH	DL	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	Sum	EOT

CH 返信チャンネル
 Video Sig 0 無信号
 1 ビデオ信号有り
 2 同軸多重装置有り (CH1~CH8)
 EQ 0~7 EQ 設定値 (CH1~CH8)
 GA 0~0x64 "
 SG 0~0x64 "
 DH, DL 0~0x12C "
 0~0xFFFF 外部入力 (EXT)

通信上の注意

1. 同軸多重制御通信の遅延

RS485/RS232 通信を映像信号内垂直ブランキング期間に重畳する際に、フィールドごとに通信を行っている為、33.2mS 以上の時間が必要となります。

また、同軸ケーブルの設置状況により、ノイズ等の影響で再送信を 3 回までリトライ処理を行うので、最長 99.6mS 以上の時間が必要となります。

前面パネルの映像接続表示 LED が通信時は黄色点滅し通信できない場合、赤点滅となります。

2. 複数チャンネル通信処理(ブロードキャスト)

同軸多重制御通信は同時に複数チャンネル通信をすることはできません。

順次チャンネルに接続して通信を行う為、1CH 最長 99.6mS で 8CH で 798.8mS 以上の時間が必要となります。

また、この期間中に、別のコマンドを送ると実行中のコマンドを中止する場合がありますのでご注意ください。

※通信開始タイミングと映像信号への重畳させるタイミングにより、時間が必要な場合がありますので、実機での確認を考慮してください。

仕 様

一般仕様

使用条件	屋内 EIA ラック
使用温度	0～+40℃
使用湿度	35～90%相対湿度（ただし、結露しない場合）
電 源	AC100V±10% 50/60Hz
消費電力	約 15W
寸 法	外形図をご参照下さい。
筐体材質	耐食アルミ合金及びメッキ処理鋼板
外観処理	前面パネル 塗装色 マンセル 5Y8/1 その他 メッキ処理鋼板
質 量	約 4.3 kg
適合機種	PTC-107、PTC-113、PTC-117、PTC-118、PTC-301、PTC-EP-RC200

入出力

RS-485コネクター

形 式	RS-485 シリアル信号
送信方向	双方向（半二重）
通信速度	9600bps
スタートビット	1 ビット
ストップビット	1 ビット
データビット	8 ビット
パリティチェック	無し
フロー制御	無し
コネクター	RJ-45

ピンアサイン

ピン番号	1	2	3	4	5	6	7	8
用 途	A	B	A	NC	NC	B	GND	GND

RS-232Cコネクター

形 式	RS-232C
送信方向	双方向
通信速度	9600bps
スタートビット	1 ビット
ストップビット	1 ビット
データビット	8 ビット
パリティチェック	無し
フロー制御	無し
コネクター	Dサブ9 ピンオス ロッキングスクリューネジ

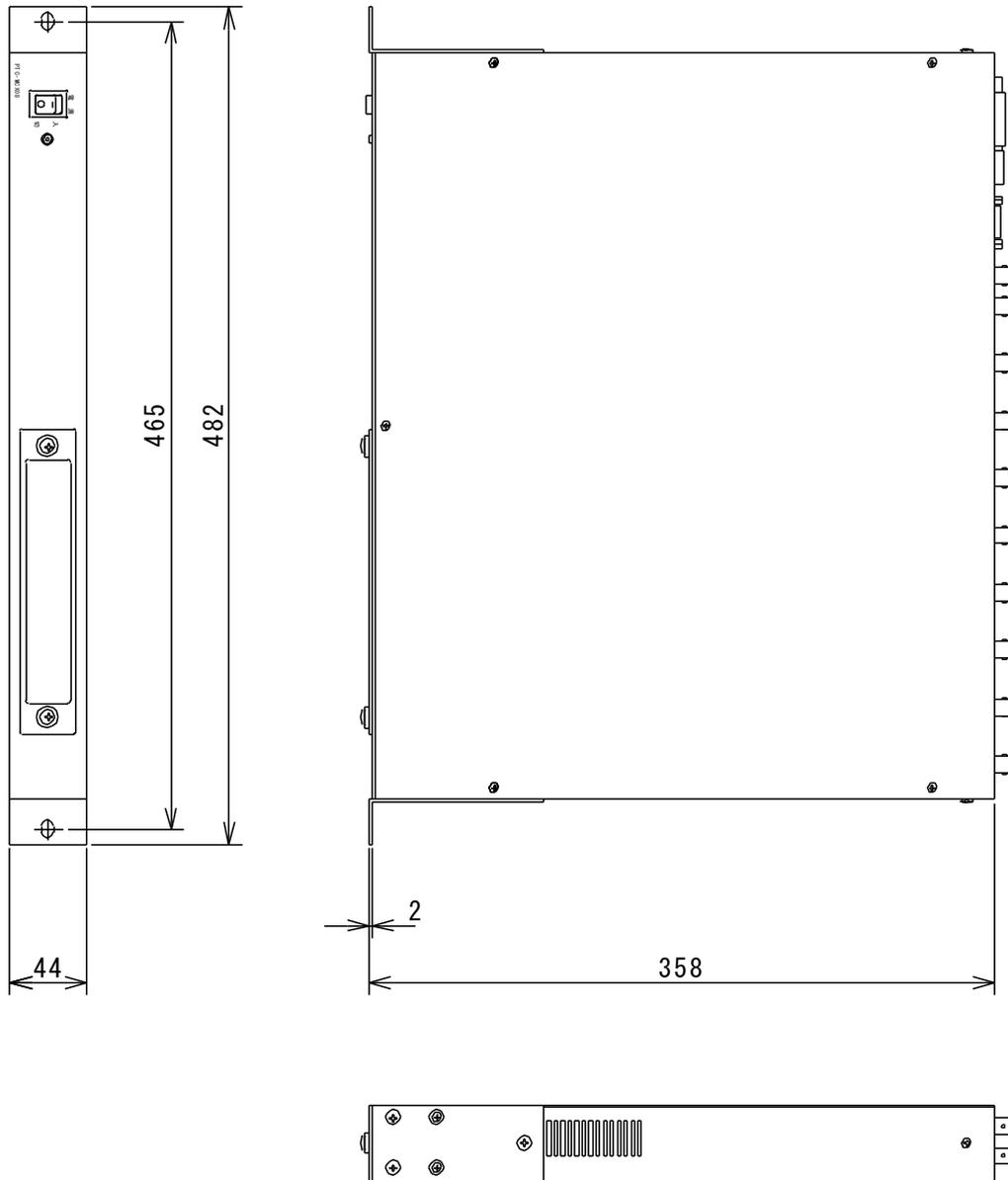
ピンアサイン

ピン番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9
用 途	NC	RXD	TXD	DTR	GND	DSR	RTS	CTS	NC

※ 通信仕様

旋回カメラ及び PTC-032GB の通信仕様をご用意していますので、必要の際は、ご請求下さい。

外形图



設定記録表

カメラ番号(アドレス設定)

	CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	CH7	CH8
設定番号								
使用カメラ								

S5 スイッチ設定

	S5-1	S5-2	S5-3	S5-2/-8	S5-3/-8			
設定状態								

※S5-2/-8 (MAIN)、S5-3/-8 (SUB) はマイアドレス設定番号

シーケンシャル時間

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	CH7	CH8	CH9

映像補償設定

	CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	CH7	CH8
S5-4/-8								
S5-5/-8								
S5-6/-8								

製品の保証について

<保証期間>

本製品の保証期間は弊社（株式会社ミカミ）が納入した日より1年間とし、弊社保証規定に基づき無償修理を行うことをお約束いたします。

<製品保証規程>

1. 上記記載の保証期間において、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った、正常な使用状態で万一故障した場合には、無償修理をさせていただきます。

2. 保証期間内でも、次の場合には有償修理になります。

- (1) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障または損傷。
- (2) お買い上げ後の輸送、移転、落下などによる故障および損傷。
- (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
- (4) 本製品に接続している当社指定以外の機器故障に起因する故障および損傷。
- (5) 消耗部材を取り替える場合。
- (6) 指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障および損傷。

3. この保証規程は、日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

* 本製品の故障に起因する付随的損害については補償いたしかねます。

<修理について>

1. 本製品の修理は引き取り修理とさせていただきます。

2. 修理内容によっては設定内容、ログなどが消えることがあります但し当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

お買い上げ年月日	年	月	日
製造番号 (Ser. NO)			

株式会社 

特機営業部

〒102-8520 東京都千代田区麹町1-10-1 ミカミビル3階

TEL.03(3230)4511 FAX.03(3230)3451

西日本支店

〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎2-7-9 豊崎いずみビル8階

TEL.06(6376)1821 FAX.06(6376)2071

仕様は予告無く変更される場合がありますので、ご了承下さい。

MUM0157-7

2016.09

訂正履歴

- 2007/10/03
- RS232C コネクタ変更 メス→オス
 - パソコン等の RS-232C コネクタと接続してご使用ください。
注) 複数台使用時は使用できません。 削除
 - ローカル制御 WIPER, LAMP 制御を追加
 - 映像選択出力設定 ON/OFF 変更 シーケンス動作が OFF→ON で設定
 - 設定方法 9 項目に外部映像入力設定を追加、以下シフト
- 2007/11/16
- 概要に据置き用ケーブルの件を追記
 - 質量訂正 4.5kg → 4.3Kg
- 2007/11/27
- 初版発行
- 2008/2/12
- 設定方法 10 の外部映像入力設定 通信制御時を追記
- 改版 1
- 設定方法 各所に S3 スイッチの説明、S5 スイッチ設定スイッチ以外を OFF を追記
- 2013/02/04
- 接続の仕方 RS-485 コネクタ ケーブル説明追加
- 改版 2
- 設置上の注意の項目を追加
 - オフセットアトリス説明追記
 - RS485 コネクタ<注意>を追加
 - 6 ページ RS485/RS232 SW 設定説明訂正
 - 特機営業部、住所変更
- 2013/04/18
- 2 ページ 構成、安全上のご注意を追記
- 改版 3
- 8 ページ PTC-107MCX-4 からの接続変換説明補足
 - 18 ページ 設定記録表を追加
- 2013/07/04
- 1 ページ 「株式会社 ミカミ」削除
- 改版 4
- 2 ページ コントローラをコントローラに修正
 - 5 ページ PTC-113HG を PTC113 に訂正、PTC-118 追記、9 ページ を 10 ページ に訂正
 - 6 ページ PTC-117HU を PTC-117 に訂正、11 ページ を 12 ページ に訂正
PTC-SCX のコメントを追記
 - 8, 9 ページ 15 ページ を 16 ページ に訂正
 - 16 ページ 適合機種追記
 - 20 ページ 郵便番号訂正、「MIKAMI&CO. LTD」削除
- 2014/09/01 改版 5
- 20 ページ 住所記載統一による修正
- 2016/08/08 改版 6
- 19 ページ MEMO を「製品の保証について」に変更
- 2016/09/08 改版 7
- 15 ページ 通信上の注意を追記